

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策I-4-3 商業の振興
---------	---------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	中小企業課長 野坂 一弥	電話番号	0852-22-5881
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	中山間地域商業活性化対策事業			
目的	(1) 対象	中山間地域の中小小売業者、NPO、組合・団体、支援機関等		
	(2) 意図	商業活動の場を確保し、地域の買い物の場として活用される		
事業概要	◆地域商業活性化支援事業 ・中山間地域における商業機能を維持するために、市町村に対して、補助金を交付する。			

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	当補助金の年間利用件数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		17.00	17.00	17.00	17.00	
式・定義	当補助金による年間利用件数	実績値	28.00	43.00	48.00	52.00			%
		達成率		252.90	282.40	305.90			%
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位		
								目標値	0.00
式・定義	実績値	0.00	0.00	0.00					
	達成率		0.00	0.00				%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	16,706	
うち一般財源 (千円)	16,706	

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・平成26年度補助実績は次のとおり 【実績】浜田市11件、出雲市2件、大田市11件、安来市1件、江津市11件、雲南市7件、奥出雲町3件、川本町1件、邑南町1件、津和野町3件、隠岐の島町1件（計52件） ・平成26年度で事業廃止

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・補助金利用件数が目標値を上回った。 ・中山間地域の買い物不便解消を図るため、商業者・商工団体・市町村が一体となった新しい取り組みや連携体制が、地域において構築され始めている。 ・平成26年度で事業廃止

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」 ・依然として、買い物不便となっている地域が少なからずある。
②困っている状況が発生している「原因」 ・中小小売店の廃業
③原因を解消するための「課題」 ・関係部局と連携し、買い物不便対策に係る施策を強化する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・本事業は平成26年度で廃止し、新たに地域商業等支援事業により買い物不便対策を強化した。
--

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）

--